

神奈川県南支部のホームページは ([全日本建設交通一般労働組合 \(ctg-kennan.net\)](http://ctg-kennan.net)) をクリックか右のQRコードからアクセスできます。分会・班の仲間は多くの労働者に広げてください。



建交労



2024年4月20日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2024年春闘No.16

2023年度推進ニュース②通算333号

発行責任者 小島 茂

4. 20花の国&海辺の湯で交流！ 花の国で“お花の鑑賞”は駆け足で

神奈川県南支部は好天に恵まれた4月20日横須賀市内のくりはま花の国と海辺の湯（食事処）で交流（レク）活動をおこないました。参加者は、小島委員長、金崎書記長と、合同分会から佐藤・益山・河野・根井・和泉・赤羽の合計8名でした（2017年以降のレク活動では最多の参加者）。

午前10時に京急久里浜駅に集合した参加者は、徒歩20分ほどで花の国に到着し各自思い思いに広い園内を散策しました。残念ながらお目当てのポピーは2分咲き程でさみしい風景でしたが青いネモフィラは見頃迎えていました（園の話では、ポピーの開花はかなり遅れている）とのこと。



花の国に到着した参加者と 広大な園内のお花畑



園内を走るフラワートレイン& 9m・5tのゴジラ

花の国は、米軍基地（倉庫）があった広大な跡地（583,330㎡）を横須賀市が整備して1988年にコスモス園として開設し、いまでは春に100万本のポピーとネモフィラ、秋はコスモス100万本が咲き誇りハーブ園やアーチェリー・プール・ボルダリング施設、レストラン・売店があり、広大な園内には列車型バス（フラワートレイン）が走り、山頂付近には映画初代ゴジラが上陸した地（横須賀市観音崎たたら浜）を記念してゴジラの滑り台（高さ9m・重量5t）が鎮座し、アスレチック大滑り台などもあって家族連れで楽しめる施設として年間50万人が訪れるといます。

この日は、クラシックカー数十台が園に集結（ヒストリッカーデー）して観光客の目を引いていました。しかし“花より〇〇”の参加者は、お花見は駆け足で済ませて園を後に、お目当ての海辺の湯をめざして1.7kmの距離を徒歩でのんびりと約30分かけて移動し東京湾フェリー乗場に隣接する“海辺の湯：食事処”に予約した12:00丁度に到着しました。



広場に集結したクラシックカー& 珍しいポルシェのパトカー

漁師料理よこすかで舌鼓を打って大満足 東京湾を望む温泉に誰も入らず帰宅！

海辺の湯の食事処“漁師料理よこすか”の予約席に着くと、まずは冷たい生ビール＆ウーロン茶（1名）で待ち望んでいた乾杯です。

晴れた初夏の陽ざしのなかを京急久里浜駅から“花の国”へ“花の国”を小一時間散策して“海辺の湯”まで歩いたあとに冷えたビールが乾いた喉に沁みいる。この瞬間の至福はお酒を嗜まない方には理解し難いかも知れません。

乾杯のあとは、食事のメニューを眺めながら「ア〜でもない、コー〜でもない、これは高いな〜」などとひとしきり賑やかに思案橋です。

このあたりになると、温泉に入ると決めてきた少数者も心が萎えて入浴は放棄しました（もともと参加者のほとんどは最初から温泉に入る予定はありませんでした）。



花の国から海辺の湯に到着した参加者の記念写真



どれも美味しそうだな〜でもこれ高いよな〜迷うな〜

“じゃあ〜なんで温泉に来たのよ〜” まあ〜いっか! なんだ かんた言いながら旨かった。みんな大満足で 14:00 には帰途に。支部と“にぐるま会”の援助金ありがとうございました。



露天風呂とそこから見えるフェリーは次の機会に

第95回メーデーは5月1日(水)開催です 分会・班は地元のメーデーに結集しよう!

第95回メーデーが近づいてきました。今年のメーデーは平日（水）ですが、神奈川県南支部の各分会・班は、加盟する地域労連が実施する下表のメーデーに結集しましょう。

第95回メーデー	会場	式典開会	デモ出発	各メーデーに対応する分会・班
横浜メーデー	沢渡公園	10:00	11:15	エネックス分会、弥生京極社班
川崎メーデー	中原平和公園	10:00	12:30	イワサワ分会、ギオン分会、内外液輸分会 中日臨海バス分会、合同分会（弥生京極班除く）
湘南地域メーデー	奥田公園	10:00	11:00	三昭運輸

2024年1月11日

建交労県本部委員長 殿

建交労支部委員長 殿

全日本建設交運一般労働組合(建交労)
中央執行委員長 角田 孝代



「令和6年能登半島地震」被災者支援カンパのよびかけ

全国で奮闘されている建交労のみなさんに呼びかけます。

本年1月1日の夕方4時過ぎに発生した令和6年能登半島地震(能登半島地震)は、M7.6・最大震度7を記録しました。地震発生直後には能登方面の日本海沿岸部で津波が襲いかかり、家屋などが水没し、人的被害を与えました。

石川県では死者202人、安否不明者323人、県内避難所約400ヶ所には約26,000人が身を寄せています。(1月9日現在)その内、珠洲市内、能登町、七尾市に居住する建交労石川県本部に結集する北陸ダンプ支部(1名)、北信越労職支部石川分会(41人)が家屋の全壊、半壊、一部損壊などの被害を受けています。石川分会の組合員1人が亡くなっています。石川県本部の石田直道委員長は分会員たちの状況把握の為に5日から現地入りをしています。

建交労は、被災された仲間と住民の皆さんに心からお見舞い申し上げるとともに今後できる限りの支援をしていくことにします。

1月5日石川県労連内に「支援対策本部」を設置し、全労連は1月10日に“「令和6年能登半島地震・対策支援募金」のとりくみを開始しました。今後現地の状況を掌握したうえで、支援物資の搬入やボランティア派遣など具体的な支援活動を全国的にすすめる方針を確認しました。

建交労は、全労連の確認・提起を受けて「能登半島地震」被災者支援カンパのとりくみを10日に開催した常任執行委員会で確認し、全国の仲間に協力を呼びかけます。各組織の積極的な対応をお願いします。

集約した救援カンパは、以下の金融機関の口座に振り込んでください。

お手数ですが、振り込みした組織は必ず、メールかFAXで別紙用紙にて随時お知らせ下さい。

以上

【振り込み先】

中央労働金庫新宿支店(普通) 3731711

(名義) 建交労中央本部

* 【郵便振替】

(口座番号) 00180-3-25195

(名義) 建交労

振込用紙に「震災カンパ」と記入してください

上記へ支援カンパを振り込んだ分会・班及び組合員は神奈川県南支部にご報告ください。